

# シ ラ バ ス

## 【必修領域】

講座記号		講習名			
<b>A-1</b>		<b>教育の最新事情</b> 学校を巡る近年の状況変化 教師として期待される子ども観・教育観について			
担当講師	時間数	日程	主な受講対象者	講習形式	試験の方法
松浦 正博	3時間	8月7日	幼稚園・中学校・高等学校教諭	講義	筆記試験
講習概要					
<b>到達目標</b>	近年の激しい社会動態の変化の中で、学校・教職のあり方について理解する。				
<b>I・II</b> 9:00～10:30	近年、わが国の学校を取り巻く社会の変化は激しいものがある。最近の新学習指導要領の策定等は教育改革がそのことの証左であろう。本講習では、そうした教育改革の動向を視野にいれ、教員のあり方について、以下の内容について具体的に取り上げる。				
<b>III・IV</b> 10:40～12:10	1. 近年の学校をめぐる社会状況の変化について、その背景について触れるとともに、学校のありかたを当該者である保護者や子どもたちはどのように見ているのかについて、各種の調査、統計に依拠しながら明らかにする。  2. ILO・ユネスコの「教員の地位に関する勧告」(1966年)以来、展開されてきた専門職としての教員のあり方について、最近の調査、統計等によりながら教員に求められる資質能力、特に教育実践力について省みる。特に、ここ数年の中央教育審議会答申(「今後の教員養成・免許制度の在り方について」平成18年度)等に見られる動向について省察する。				
<b>V・VI</b> 13:00～14:30	/				
<b>VII・VIII</b> 14:40～16:10	/				
<b>試験について</b>					

# シ ラ バ ス

## 【必修領域】

講座記号	講 習 名				
A-2	<b>教育の最新事情</b> 子どもの発達に関する心理学等における最近の動向について 学習意欲を引き出す学習指導、教育における対人関係・コミュニケーションの重要性に				
担当講師	時間数	日程	主な受講対象者	講習形式試験の方法	
桐木 建始	3時間	8月7日	幼稚園・中学校・高等学校教諭	講義	筆記試験
講 習 概 要					
到達目標	心理学の視点から学習・発達の過程を理解し、学習指導のあり方について考える。				
I・II 9:00～10:30					
III・IV 10:40～12:10					
V・VI 13:00～14:30	心理学で明らかになってきた記憶・学習・思考判断・問題解決等のメカニズムの研究における最近の動向について概説するとともに、これらの発達過程と教育上の意義について考える。また、学習意欲にかかわる諸要因、教師と子どもの対人関係をふまえて、学習指導のありかたを考える。				
VII・VIII 14:40～16:10					
試験について					

# シ ラ バ ス

## 【必修領域】

講座記号	講 習 名				
A-3	<b>教育の最新事情</b> 特別支援教育(LD、ADHD)に関する近年の知見 子どもたちの学級内での居場所づくりの意識形成				
担当講師	時間数	日程	主な受講対象者	講習形式試験の方法	
山下 京子	3時間	8月9日	幼稚園・中学校・高等学校教諭	講義	筆記試験
講 習 概 要					
到達目標	子どもの個の育ちを尊重し、その能力を充分に開発させるための教育環境の整備と、豊かな人間関係を築き、安定した自己の存在感を抱くことのできる教育プログラムの必要性について理解を深める。				
I・II 9:00～10:30	<p>1 特別支援教育(LD、ADHD)に関する近年の知見(1.5時間)</p> <p>通常学級に在籍している児童・生徒の中に、発達的に問題を抱え、特別な対応を必要としているケースがあることがわかってきた。このような特別なニーズを持つ子どもたちの発達特性を適切に認識し、最適な教育的環境を準備することが、教育現場に求められている。</p> <p>①特別なニーズを持つ子どもの発見 特別な対応を必要とするケースは、その多くが幼児期において見つけることが可能であると考えられる。手がかりとなる子どもの行動特徴等について検討する。</p> <p>②ケースの見立て 個々の子どもが抱える発達的問題について、適切に評価し、必要とされる支援について検討することが望まれる。ケースの見立てについてのポイントを解説する。</p> <p>③教育現場における適切な支援のあり方 必要とされる支援を教育現場で実践するには、様々な工夫が必要である。校内体制の見直し、教材や教授法の工夫などについて検討する。</p> <p>2 子どもたちの学級内での居場所づくりの意識形成(1.5時間)</p> <p>学校生活のほとんどを学級で過ごす子どもたちにとって、学級内に自分の居場所があるかどうかということは、学校生活への適応という面だけではなく、より長期的な視点から、ひとりの人間の人格形成に大きな影響を及ぼすことを忘れてはならないだろう。学級内での居場所づくりは、子どもが安定した自己存在感を持ち、他者の存在価値をも認め、豊かな人間関係を築くための基盤となると考えられる。また、学級内での居場所づくりは、不登校問題を考える際に、重要な鍵となる。</p> <p>①学級の雰囲気と満足度 学級の雰囲気と、個々の子どもの学級への満足度の関係について考察し、さらにそれぞれの評価の仕方について検討する。</p> <p>②学級内における豊かな人間関係づくり 適切な対人関係を育成するための様々なプログラムが考案されているが、その中で教育現場で実践可能なものを紹介し、学級内において豊かな人間関係づくりを促進させるために何が重要かを考察する。</p> <p>③不登校の子どもたちの学級内での居場所づくりの意識形成 不登校の子どもや、教室に入れない子どものケースを取り上げ、校内や教室内に子どもの心の居場所をどのように作っていけば良いかについて、適切な理解と対応について検討する。</p>				
III・IV 10:40～12:10					
試験について					

# シ ラ バ ス

## 【必修領域】

講座記号	講習名				
A-4	<b>教育の最新事情</b> 近年の子どもの変化についての理解、学習指導要領の改訂動向等				
担当講師	日程	主な受講対象者	講習形式	試験の方法	
戸田 浩暢	1.5時間 8月9日	幼稚園・中学校・高等学校教諭	講義	筆記試験	
講習概要					
到達目標	学習指導要領改訂の動向等について理解している。				
I・II 9:00～10:30					
III・IV 10:40～12:10					
V・VI 13:00～14:30	平成20年3月に幼稚園教育要領と、小学校及び中学校の学習指導要領が、また平成21年3月に高等学校及び特別支援学校の学習指導要領が告示された。改訂された学習指導要領の基盤となる、中央教育審議会から平成20年1月17日に出された、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)」の内容の理解を図る。 主に次の内容で講義を行う。 1 学習指導要領改訂の経緯 2 学習指導要領改訂の基本的な考え方 3 教育内容に関する主な改善事項				
VII・VIII 14:40～16:10					
試験について					

# シ ラ バ ス

## 【必修領域】

講座記号	講 習 名				
A-5	<b>教育の最新事情</b> 学校を取り巻く社会との連携・協力についての理解				
担当講師	時間数	日程	主な受講対象者	講習形式	試験の方法
信楽 和宏	1.5時間	8月9日	幼稚園・中学校・高等学校教諭	講義及び討論	筆記試験
講 習 概 要					
到達目標	1 学校組織一員としての経営意識の形成 2 保護者・地域社会との連携の必要性の理解 3 保護者・地域との連携に実践的に取り組む力の向上				
I・II 9:00～10:30					
III・IV 10:40～12:10					
V・VI 13:00～14:30					
VII・VIII 14:40～16:10	1 学校組織のあるべき姿 目標を達成する組織 2 組織人としての自覚 教育はチームワークが大切 3 学校目標の策定の観点 (1) ビジョン・ミッションの確認 (2) 学校の現状把握 期待, 信頼, 課題について理解する (3) 具体的目標の策定 (4) 責任の明確さ 教職員の共通理解・確認 4 保護者連携について (1) 保護者連携のねらい (2) 保護者の協力と理解の獲得 (3) 学校と保護者の一体感 5 地域社会との連携 (1) その必要性の確認 (2) 具体的実践の状況 (3) 問題点及び課題 6 学校における危機管理上の課題 (1) 校内外における安全確保 (2) 情報セキュリティの現状				
試験について					